

# TRI GROUP

## 2012年度決算 説明資料

---

2013年5月31日

**東海ゴム工業株式会社**

---

# TRI GROUP 2012年度 業績

TOKAI RUBBER INDUSTRIES, LTD.



代表取締役 社長  
西村 義明

## ①経済情勢

欧米

米国経済は緩やかに回復、欧州経済は景気低迷が続く

日本

東日本大震災からの回復  
下期には、金融緩和策から円安・株式市場活性化の兆し

新興国

中国やインドを中心に経済成長スピードは鈍化

## ②事業環境

自動車用品  
部門

日系メーカーは、東日本大震災から生産回復 12年9月より日中関係の悪化から中国で販売不振、海外は北米・東南アジアでおおむね堅調に推移

一般  
産業用品  
部門

プリンター機能部品は欧州をはじめ景気後退を受け販売が伸び悩み  
建機向け高圧ホースは中国景気減速に伴う販売減

原料価格

天然ゴムは下降、合成ゴムは上昇基調

為替

下期に超円高が是正され円安が進む

(単位: 億円)	11年	中間予想	12年	前年同期比	前年同期比 増減率	中間予想比
売上高	2,519	2,600	2,637	+118	(+4.7%)	+37
営業利益	128	100	92	-36	(-28.2%)	-8
経常利益	131	100	92	-38	(-29.3%)	-8
特別損益	△28	0	△11	+17	(-60.0%)	-11
当期純利益	61	60	30	-31	(-50.7%)	-30
為替レート(円/\$)	<79.08>	<80.00>	<83.11>	<4.03円安>		<3.11円安>

## 中間予想比の主な内容 (億円)

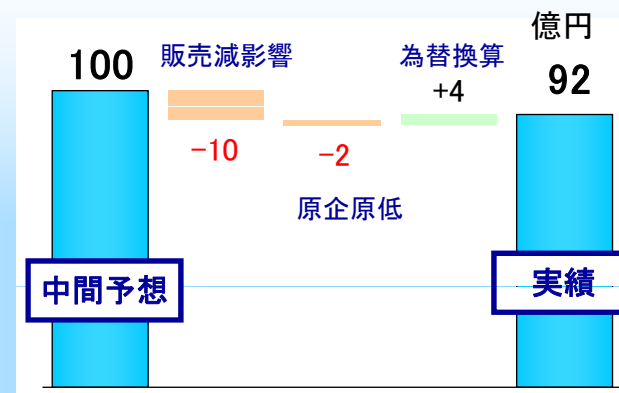
### 営業利益 -8 (販売減少と生産性悪化・原企原低遅れ)

- ・日中関係悪化による中国減産に伴う販売減
- ・プリンター機能部品や高圧ホースなどの販売減

### 特別損益 -11 (減損の実施 -14)

- ・事業構造改革の一環で、余剰設備や開発設備等を減損など

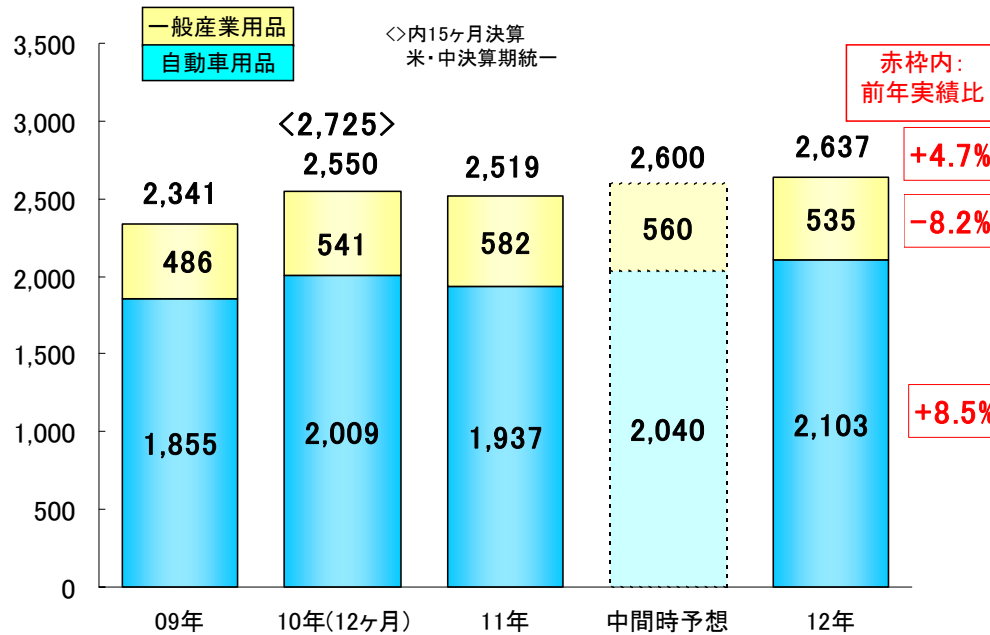
## 12年度営業利益 中間予想→実績



前年実績比

(億円)

売上高



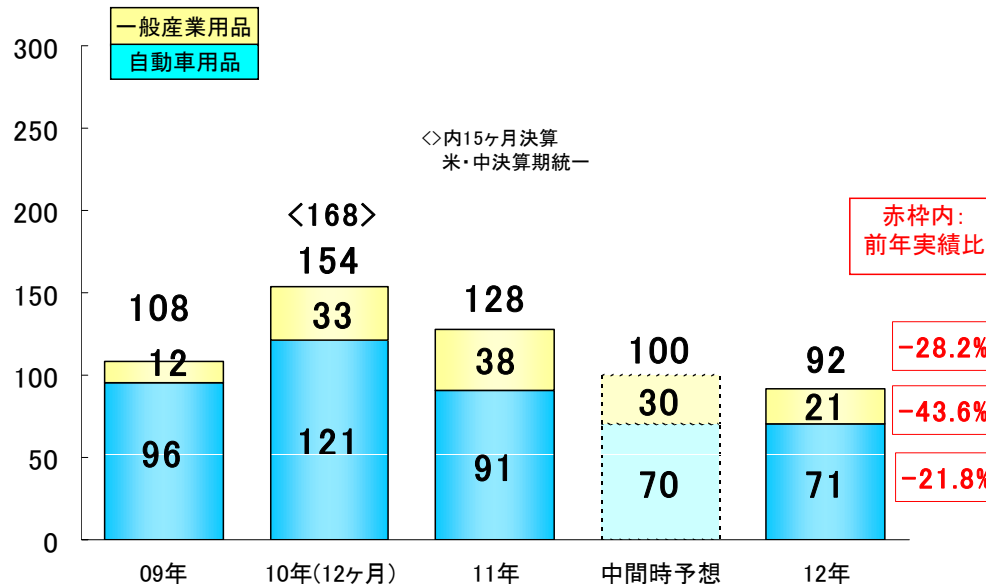
## 【自動車用品部門】

国内は、震災からの生産回復、「エコカー補助金」により売上が増加。

日中関係悪化による中国市場での日本車販売減があったものの、北米・東南アジアなどで堅調な販売。

売上為替影響+59億円  
(為替影響除く増減+5.5%)

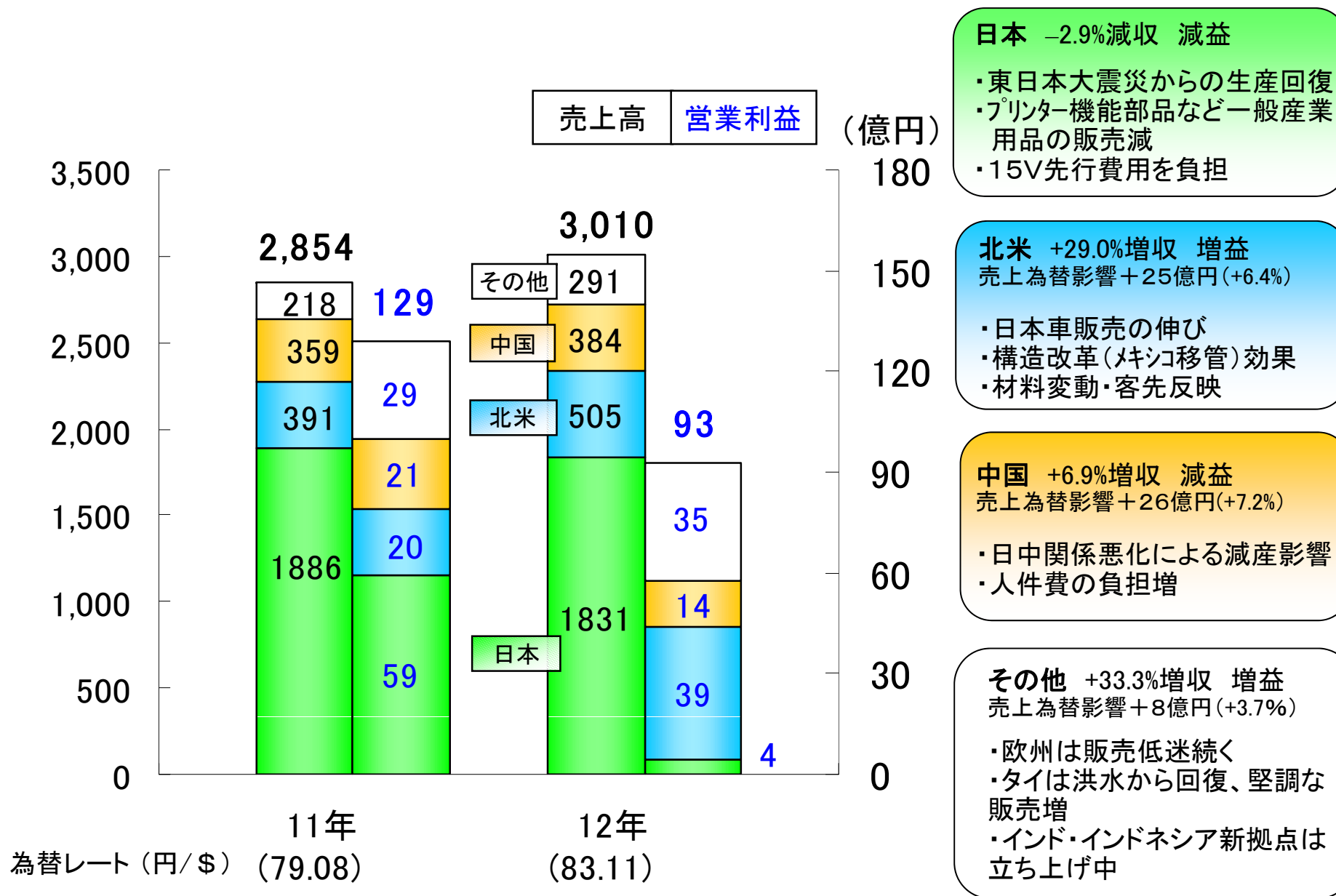
営業利益



## 【一般産業用品部門】

プリンター機能部品は、欧州景気の低迷などに起因する客先の生産調整により販売が低迷。

中国景気減退に伴い建機向け高圧ホースの需要が減少。



**日本 -2.9%減収 減益**

- ・東日本大震災からの生産回復
- ・プリンター機能部品など一般産業用品の販売減
- ・15V先行費用を負担

**北米 +29.0%増収 増益**

売上為替影響+25億円(+6.4%)

- ・日本車販売の伸び
- ・構造改革(メソシ移管)効果
- ・材料変動・客先反映

**中国 +6.9%増収 減益**

売上為替影響+26億円(+7.2%)

- ・日中関係悪化による減産影響
- ・人件費の負担増

**その他 +33.3%増収 増益**

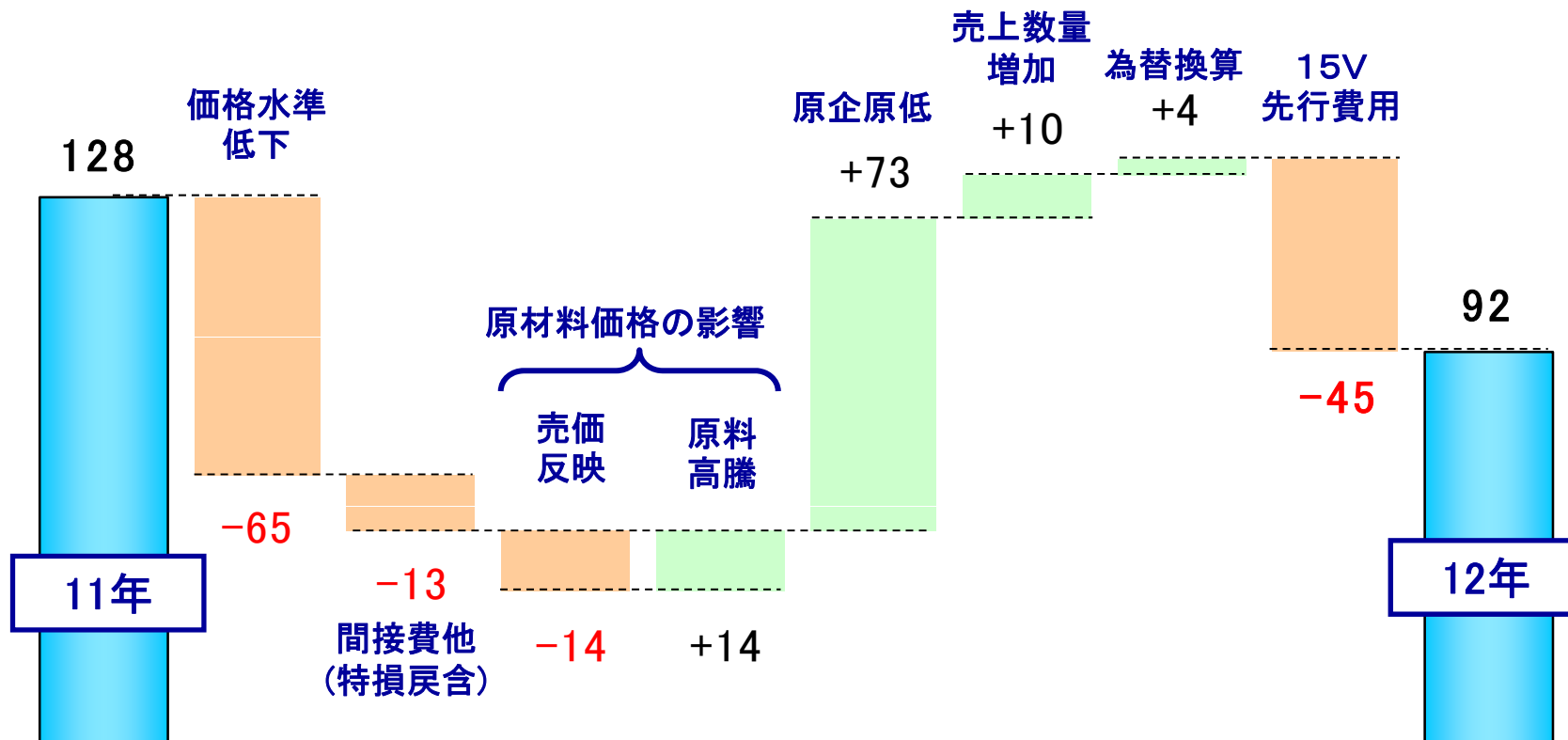
売上為替影響+8億円(+3.7%)

- ・欧州は販売低迷続く
- ・タイは洪水から回復、堅調な販売増
- ・インド・インドネシア新拠点は立ち上げ中



# 2012年度 営業利益増減要因 (11年→12年)

(億円)



---

# TRI GROUP 2013年度 見通し

TOKAI RUBBER INDUSTRIES, LTD.





## ①経済情勢

欧米

欧州は景気低迷が継続、米国は景気回復基調が続く

日本

日本は景気回復の兆し

新興国

新興国の経済成長スピード鈍化

## ②事業環境

自動車用品  
部門

日本の自動車生産は、前年「エコカー補助金」終了で減少  
海外自動車生産は欧州を除き、北米・東南アジアを中心に堅調な伸び

一般  
産業用品  
部門

プリンター機能部品、建機向け高圧ホースなどの需要が上向き

原料価格

天然ゴムは横ばい、合成ゴムは上昇基調(円安による材料高リスク)

為替

現状の円安レベルで横ばい

## 2015VISION “変革と成長” + “多様性”

- 「既存事業の持続的成長」
- 「新市場・新分野への事業展開」
- 「2020年に向けた事業基盤の確立」

13年度活動スローガン  
 「グローバル優良企業への成長を目指し、  
 2015VISION達成に挑戦しよう」

### <12年度活動実績>

#### 海外メーカー拡販

- ・グローバル開発・拡販活動の推進  
 (米国、中国、タイのテクセン活用、  
 欧州事務所法人化による営業強化、  
 ポーランド拠点での開発機能強化)
- ・M&Aによる人材、商権の獲得

### <13年度重要活動方針>

- ・Global Cost Innovation(GCI)活動の実施  
 (革新的なコスト低減の実現)
- ・グローバル拡販の加速と経営管理体制の整備  
 (M&A成果の早期化)
- ・新製品・新事業創出の加速(SR関連製品の上市)
- ・事業構造改革の更なる推進(生産拠点の統廃合など)
- ・世界の多様な考え方・価値観を深める人材育成  
 (研修センター活用)

### 自動車用品でM&Aを4社実施(12年度決算、13年度予想への決算影響)

・DYTECH

12年12月末B/Sを当社12年度末に連結算入  
 当社13年度1QよりP/Lを連結算入

・Anvis  
 ・Produflex  
 ・ITTC

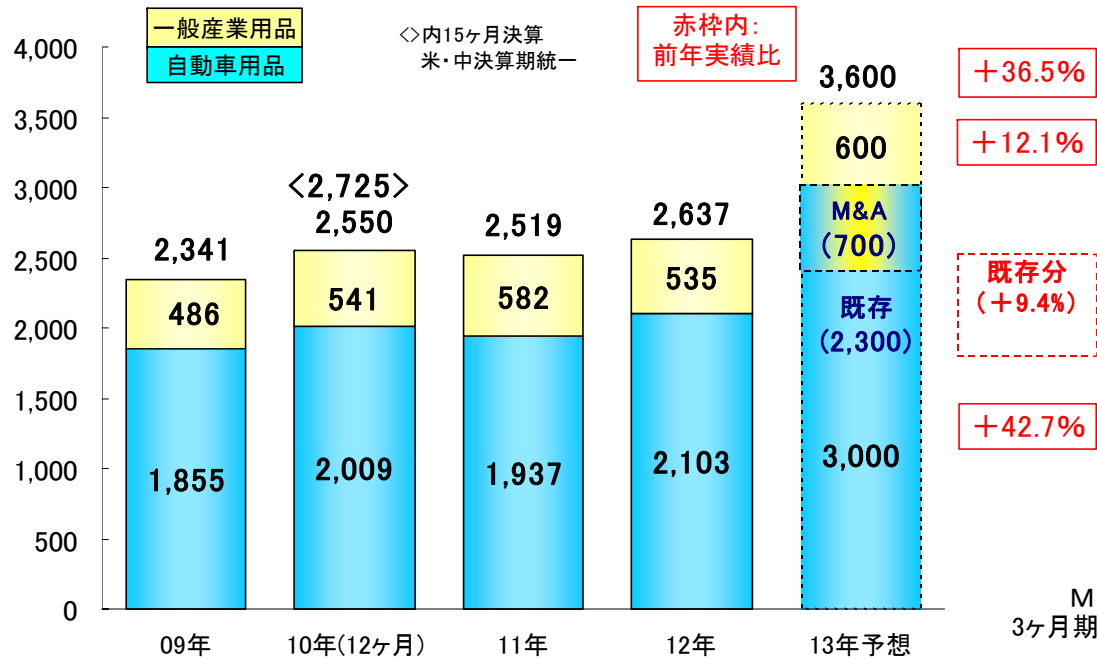
13年3月末B/Sを当社13年度1Q末に連結算入(予定)  
 当社13年度2QよりP/Lを連結算入(予定)

(単位: 億円)		12年	13年予想	前年実績比	
				増減額	増減率
売上高	既存	2,637	2,900	+263	(+10.0%)
	M&A		700	+700	
	合計	2,637	3,600	+963	(+36.5%)
営業利益	既存	92	110	+18	(+19.5%)
	M&A		10	+10	
	合計	92	120	+28	(+30.4%)
経常利益		92	110	+18	(+19.2%)
特別損益		△11	0	+11	
当期純利益		30	50	+20	(+66.5%)
為替レート(円/\$)		<83.11>	<95.00>	<11.89円安>	

注) 13年度予想は、M&Aの損益を含むため、既存とM&A会社を分けて記載

(億円)

売上高



前年実績比

【自動車用品部門】

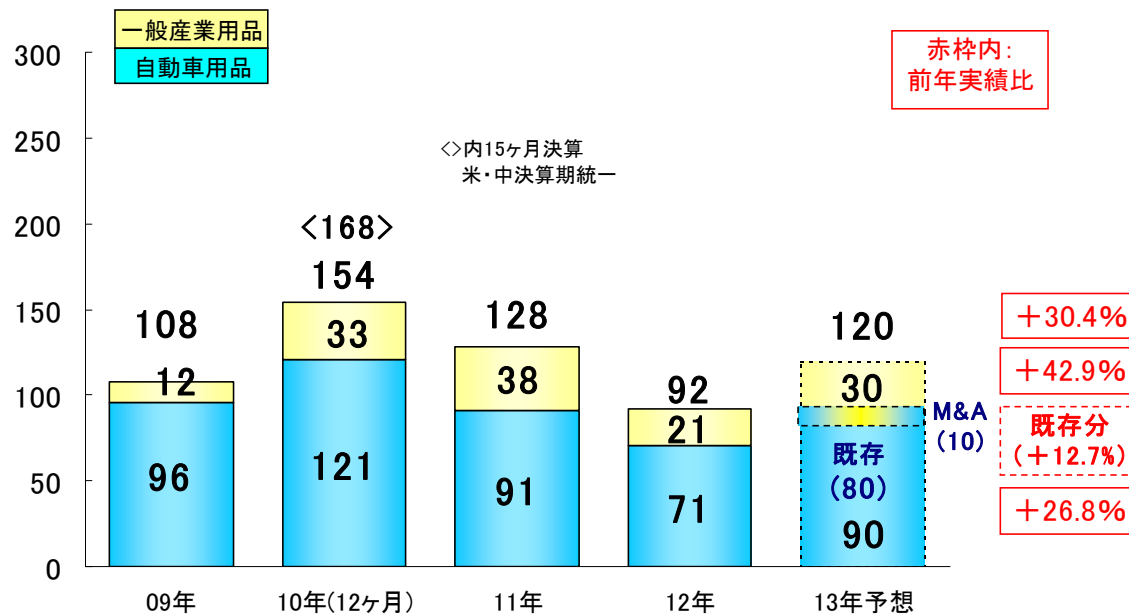
国内は「エコカー補助金」終了影響があり販売は前年を割込

海外は、中国減産影響からの回復、北米・東南アジア市場で堅調な伸び

売上為替影響+190億円  
(為替影響除く増減+0.3%)

M&A会社は  
3ヶ月期ズレで決算取込

営業利益



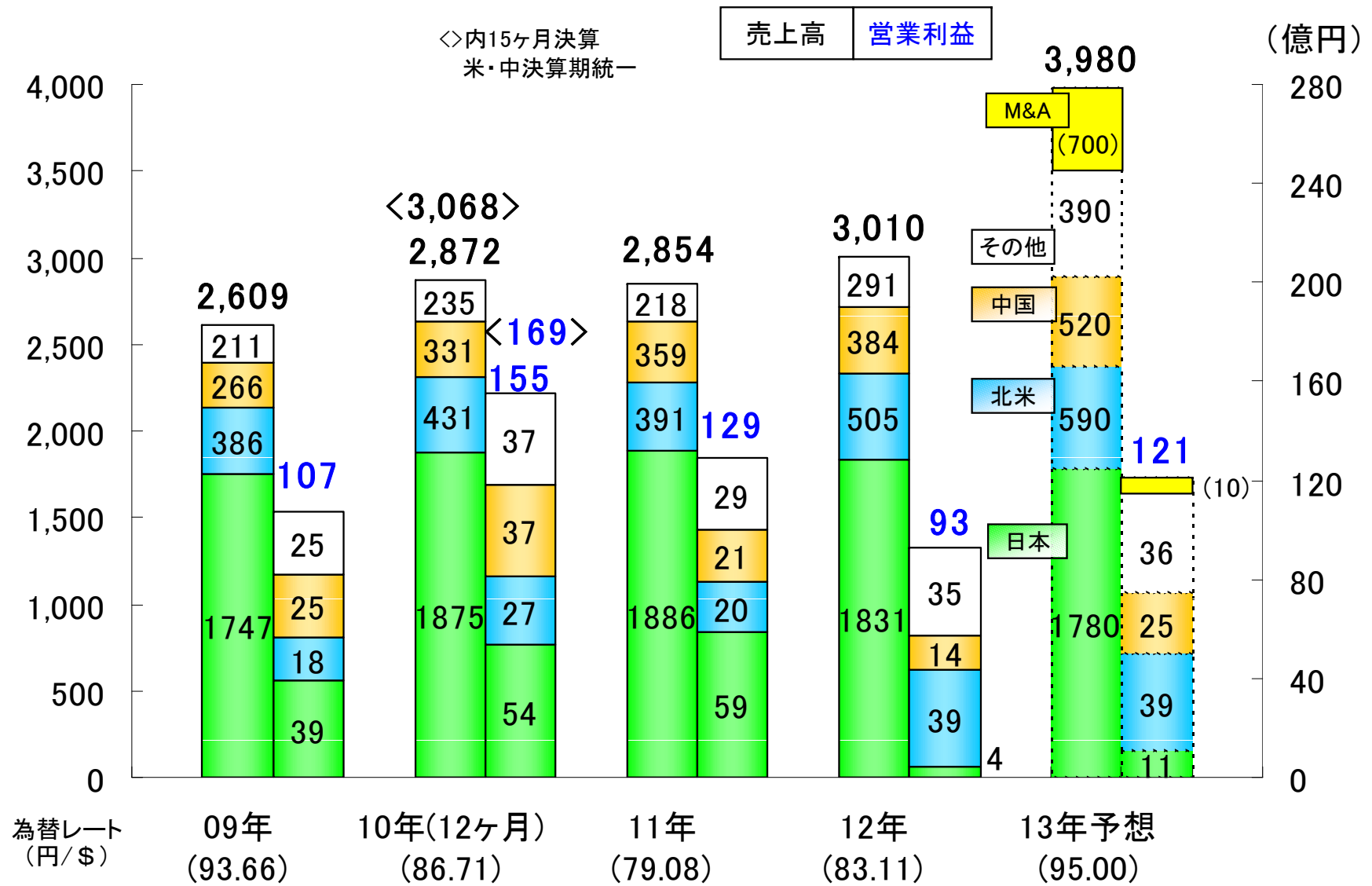
【一般産業用品部門】

プリンター機能部品は、主要客先の需要回復で販売は上向き

建機向け高圧ホースは、中国・国内で需要回復  
(中国景気の回復傾向・国内は公共事業需要増加)

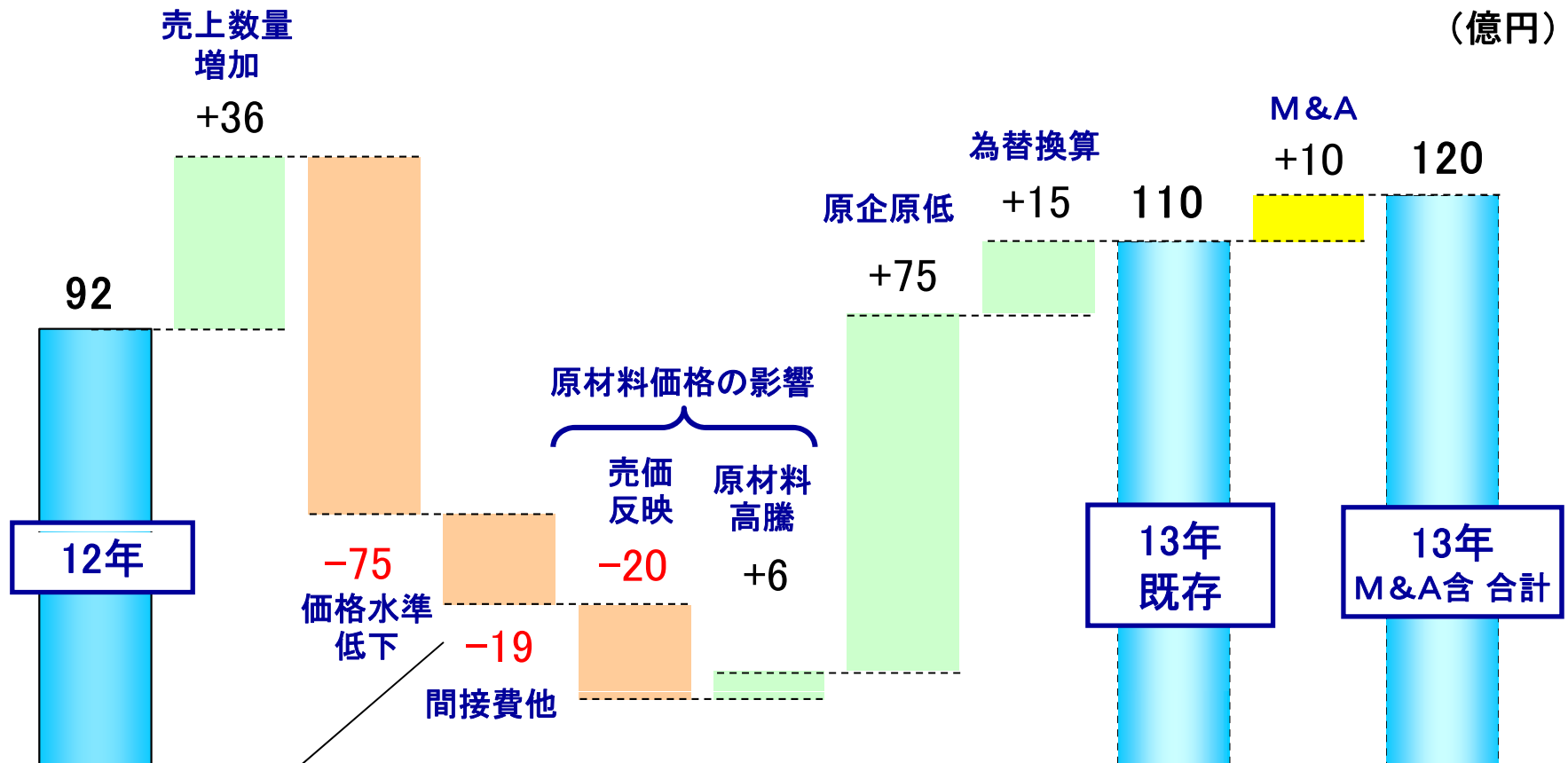


# 2013年度 地域別 売上高・営業利益構成 推移予想(地域間消去前)

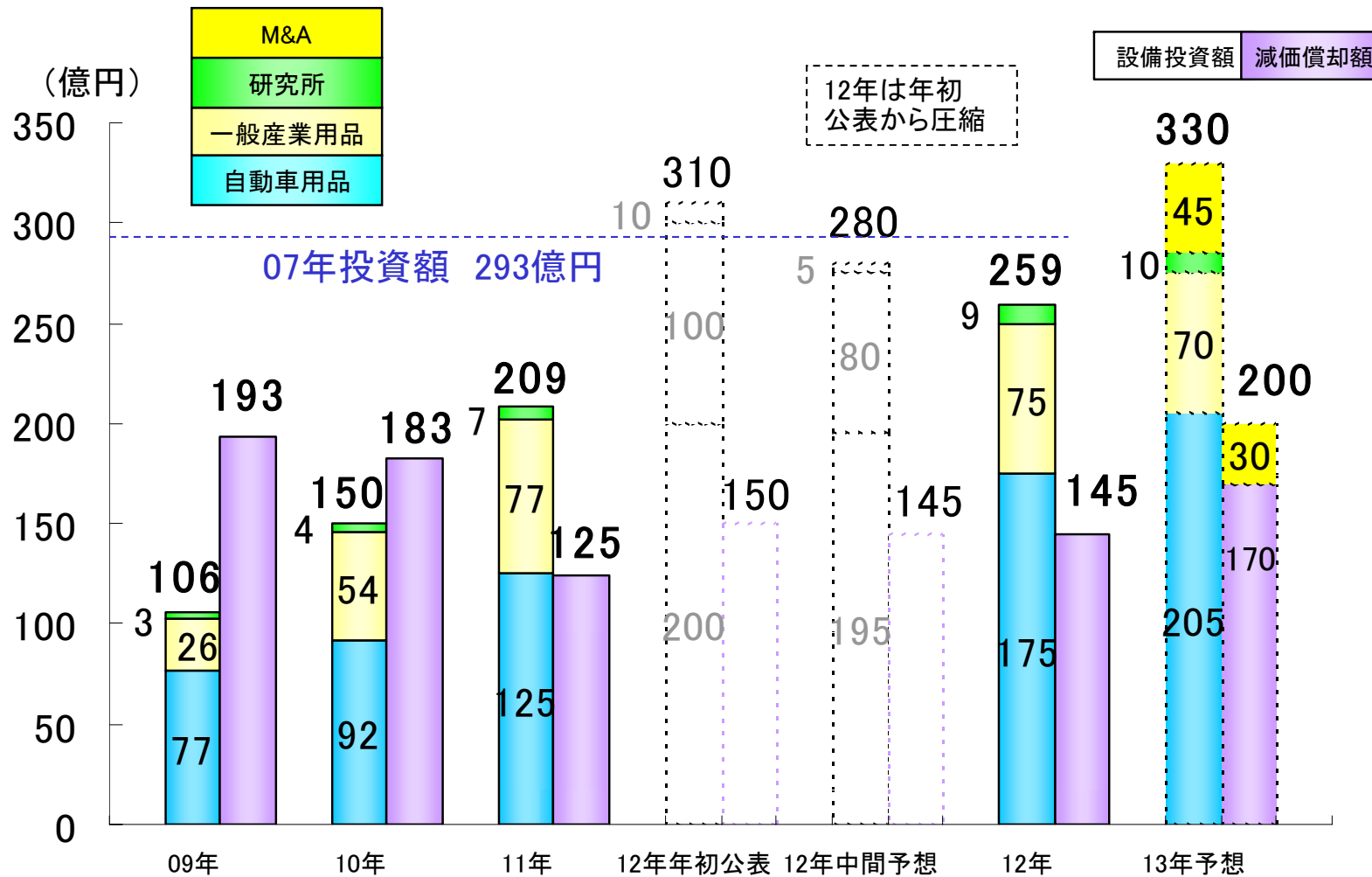




# 2013年度 営業利益増減要因 (12年→13年)

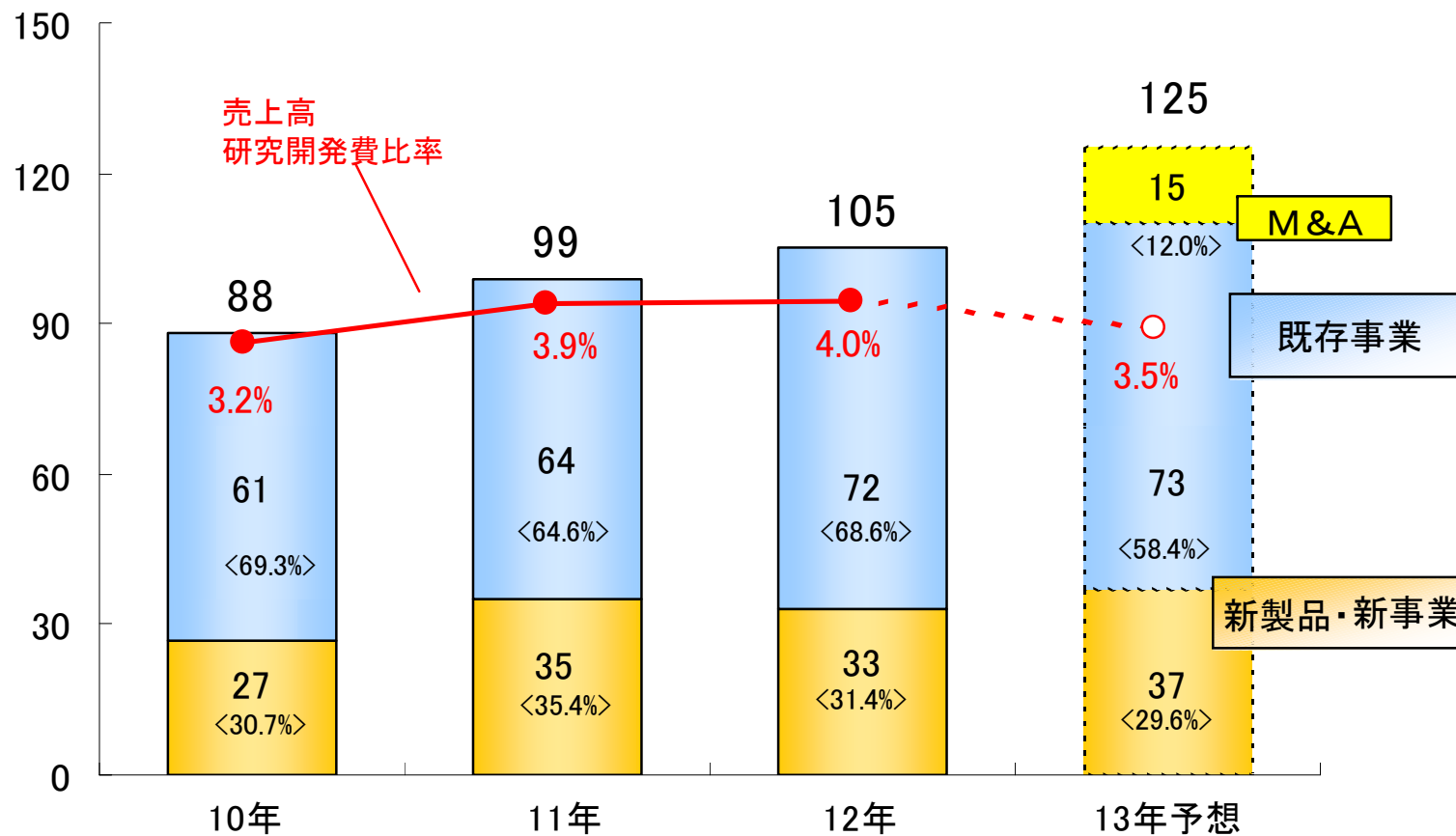


- 15V 先行費用 : +10 億円
- PMI 費用 : -5 億円
- 償却増 : -25 億円
- その他 : +1 億円



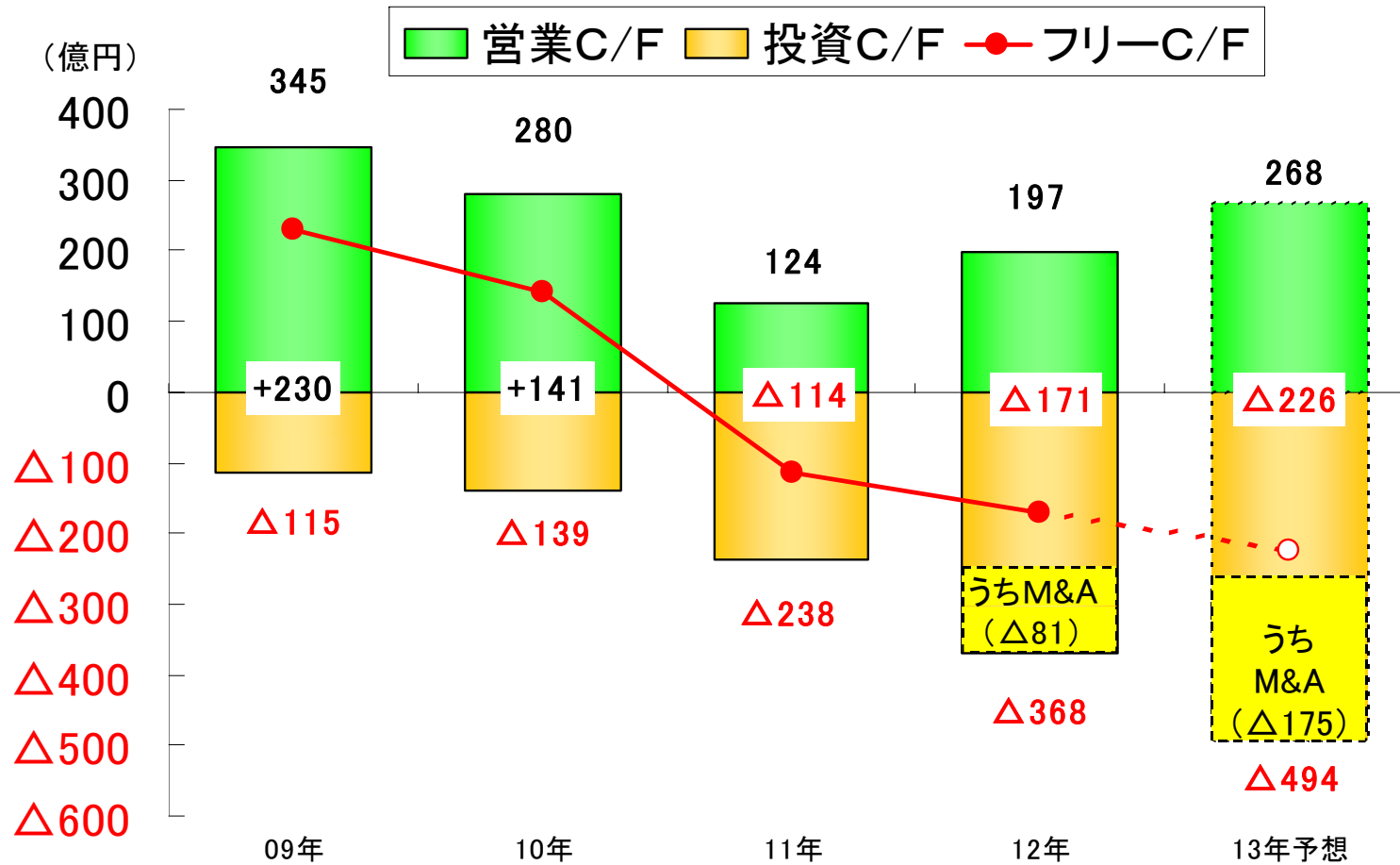
※11年より日本の償却方法変更(定率法→定額法)

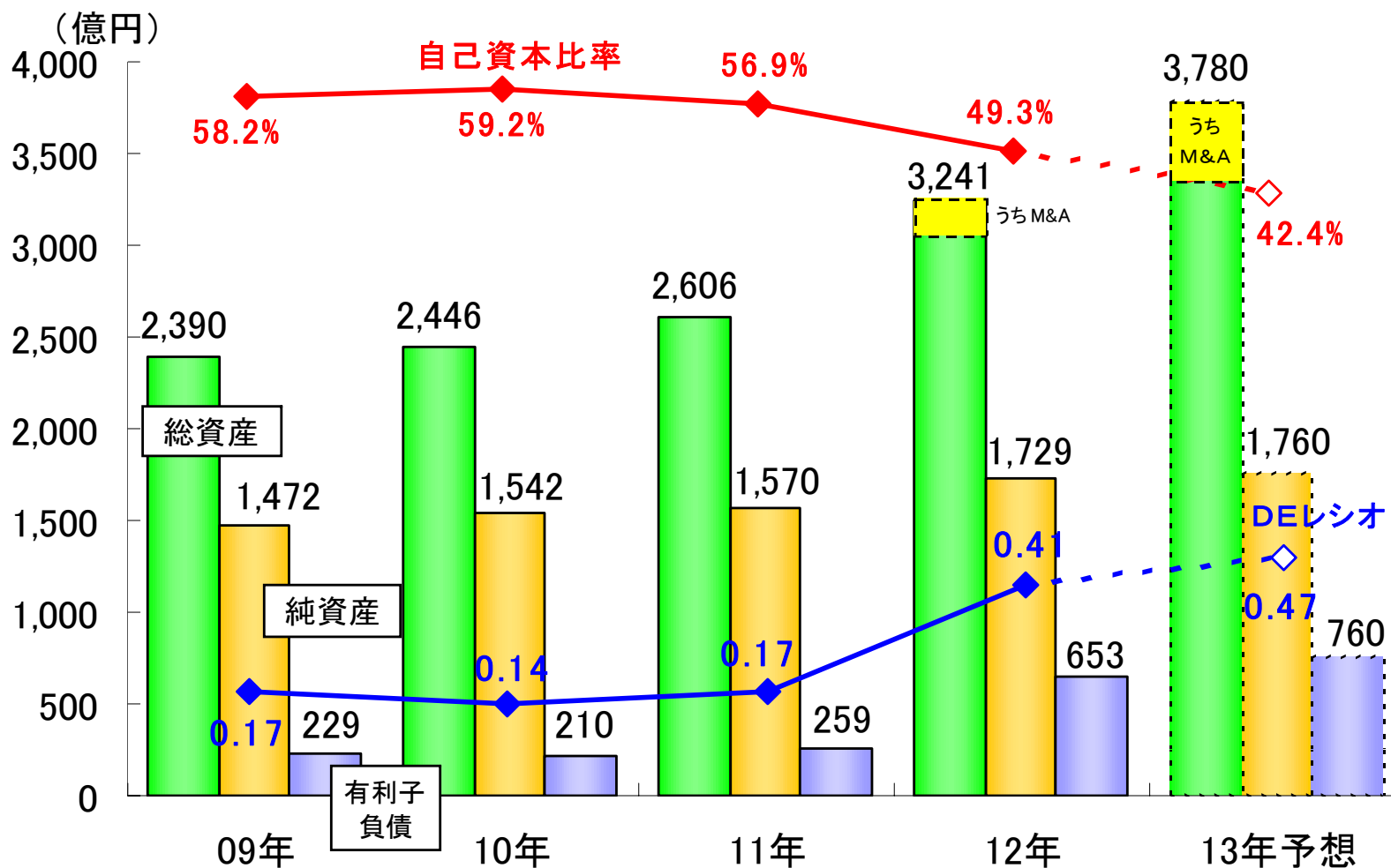
(億円)

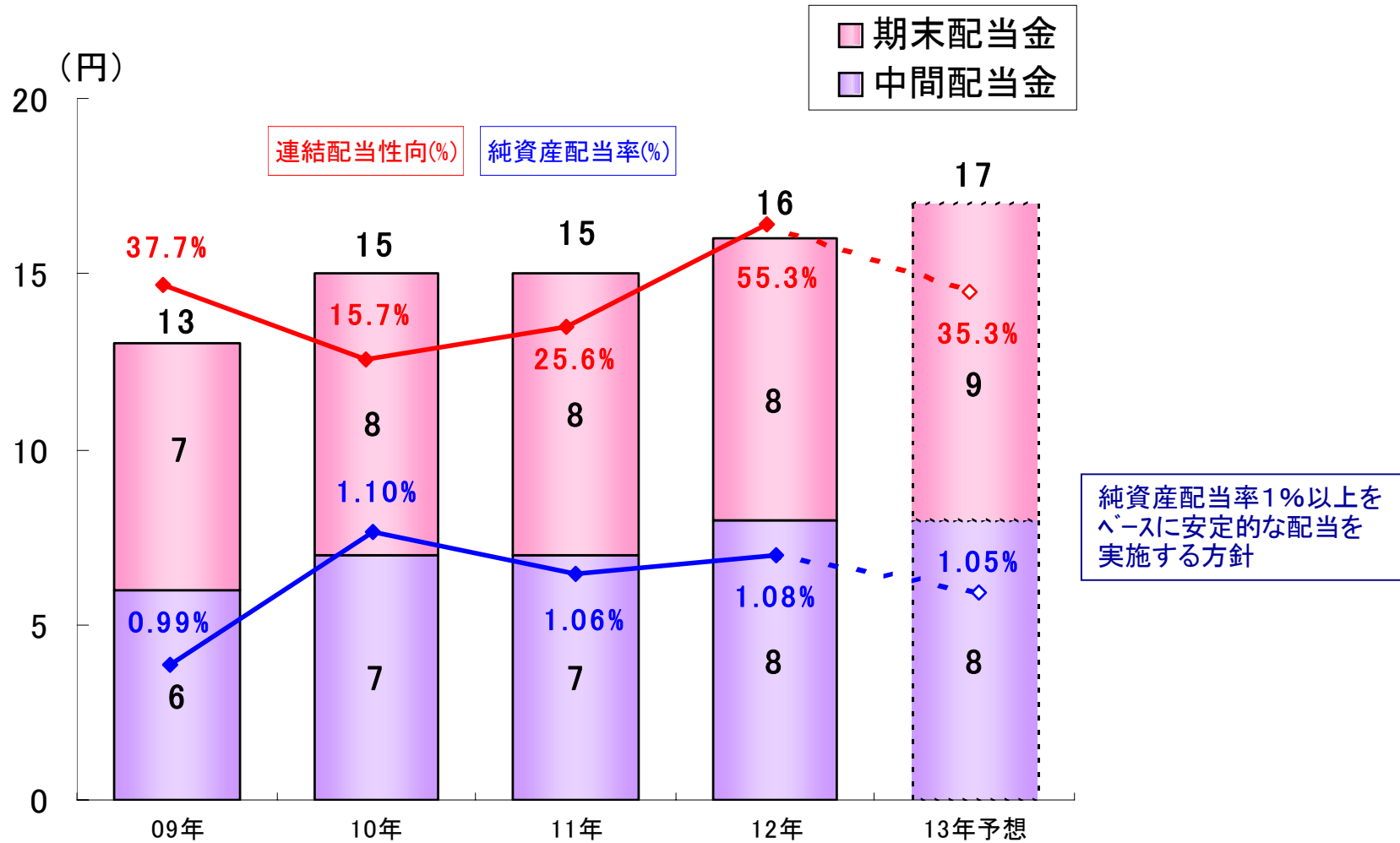


<カッコ>は構成比









---

# 2015VISION達成への取り組み

TOKAI RUBBER INDUSTRIES, LTD.



## 2015VISION

“変革と成長” + “多様性”

### 2015VISION 売上数値目標

分野	2015年度 目標
自動車	2,850億円
ICT	650億円
インフラ	350億円
住環境	150億円
医療・介護・健康	150億円
資源・環境・エネルギー	50億円
<b>連結売上高</b>	<b>4,200億円</b>



①全世界での日系自動車メーカーへの製品供給体制確立、②海外メーカーへの参入・拡販、の手段として2015VISIONを策定。  
グローバル供給体制を完成させるため、以下4件のM&Aを実施。

## Anvis Group

(自動車用防振ゴム)



所在地 ドイツ ヘッセン州  
代表者 CEO Olaf Hahn  
従業員数 約2,000人  
売上高 300百万ユーロ(約400億円)

欧州での販路獲得・拡充

## DYTECH

(自動車用ホース)



所在地 イタリアトリノ市  
代表者 CEO Giuliano Zucco  
従業員数 約3,500人  
売上高 300百万ユーロ(約400億円)

欧・南米拡販、モジュール技術獲得

## Produflex MG

(自動車用防振ゴム)



所在地 ブラジル ミナスジェライス州  
代表者 President Edgar Solano Marreiros  
従業員数 約430人  
売上高 31百万リアル(約16億円)

日系メーカー南米拠点向け生産

## ITTC

(自動車用ホース)



所在地 タイアユタヤ県  
代表者 社長 下村光男  
従業員数 約800人  
売上高 2,180百万バーツ(約75億円)

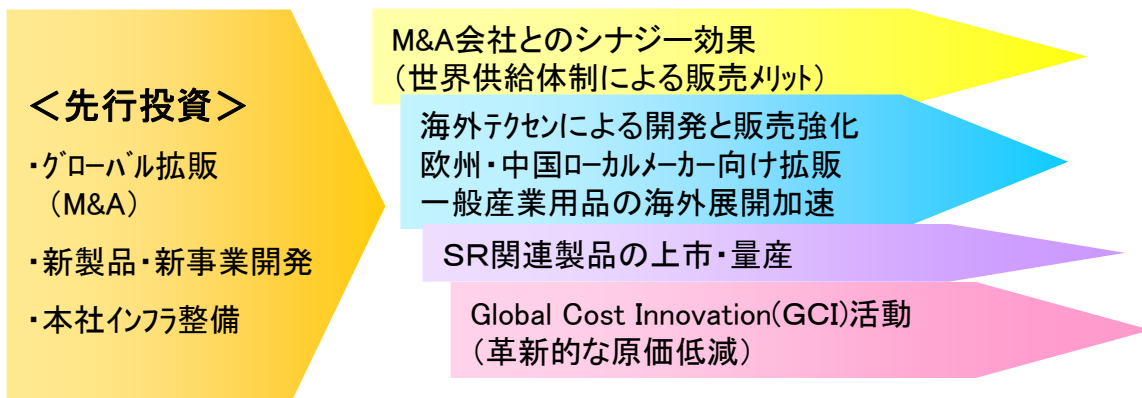
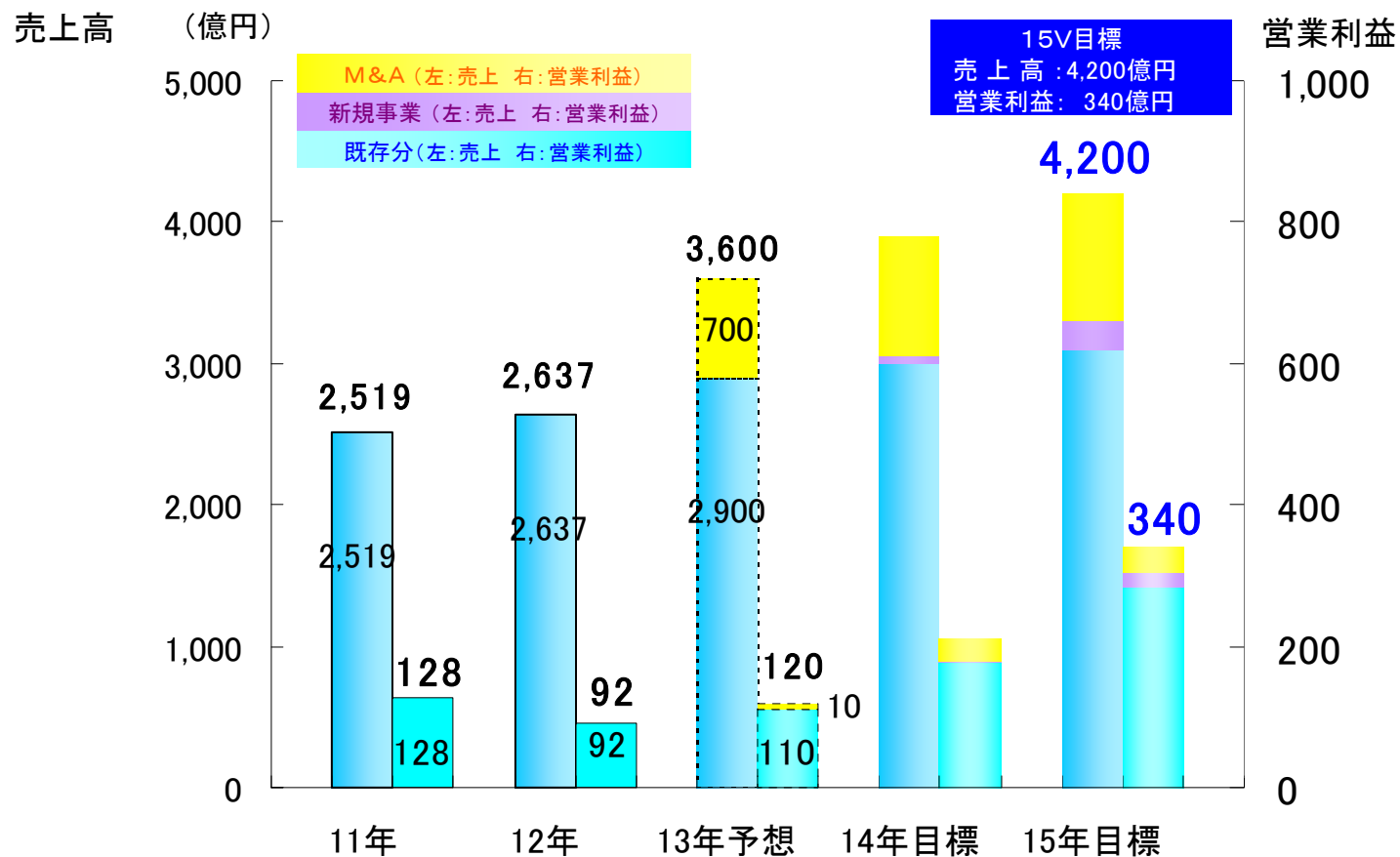
連結子会社化による基盤強化

## 2015VISION 数値目標 との対比

	'12年度実績	'13年度予想	'15年度目標
連結売上高 (海外売上高)	2,637億円 (1,179億円)	3,600億円 (2,200億円)	4,200億円 (2,100億円)
営業利益 (営業利益率)	92億円 (3%)	120億円 (3%)	340億円 (8%)
ROE (純利益/株主資本)	2%	3%	10%
ROA (営業利益/総資産)	3%	3%	8%

## 2015VISION 投資計画 との対比

	'11年度実績	'12年度実績	'13年度予想	'11年度-13年度累計	15V '11年度-15年度累計
設備投資	209億円	259億円	330億円	798億円	2,000億円
買収投資(M&A)		81億円	175億円	256億円	
研究開発費	99億円	105億円	125億円	329億円	700億円



**2015VISION  
目標の姿**



---

## 2013年度の重点取り組み事項(自動車用品)

TOKAI RUBBER INDUSTRIES, LTD.



取締役 専務執行役員  
渡辺 満

## M&A実施の狙い

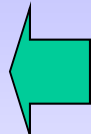
### <営業・販売体制>未進出地域への拡販

日系自動車  
メーカー



欧州・南米の現地拠点への製品納入機会の増加

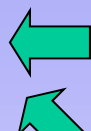
海外自動車  
メーカー



欧州・南米での新規参入・納入拡大が可能に

### <開発・生産・供給体制>グローバル供給体制の完成

日系自動車  
メーカー



現地仕様に合った製品の開発がスピーディーに

需要を見込む新興国（インド・インドネシア・メキシコ・ブラジル・ロシア \*1）での現地生産・供給体制構築

海外自動車  
メーカー



メーカーの特徴に適合した製品の開発が可能に

\*1 既存拠点の中国・タイを除く

南米・アフリカ・ロシアの生産拠点の新規獲得

⇒ 世界中で製品の開発・生産・供給が可能に

## グローバル製品供給と新規顧客獲得の体制を強化

⇒ 3社の生産・開発・営業の世界相互補完により、さらなる販売拡大を狙う

### 東海ゴム

**顧客** 日系OEM, etc.  
**地域** 日本, 北米, 中国, 欧州, アジア  
**技術** システム開発、アクティブ技術、耐熱・耐疲労ゴム配合、  
高効率生産システム・加硫技術  
**製品** ACM・ECM、高耐久ブッシュ、・・・各種防振ゴム

### Anvis Group

**顧客** VW, Daimler, PSA, GM, etc.  
**地域** 欧州, 中国, メキシコ, アフリカ  
**技術** 軽量化技術、大型多数個取り生産  
**製品** エキゾースト製品、樹脂ゴム複合製品、  
各種防振ゴム

### Produflex MG

**顧客** Fiat, etc.  
**地域** ブラジル  
**技術** 原地産ゴムによる配合設計  
**製品** エキゾースト製品、各種グロメット

## 事業展開地域の拡大と戦略製品開発に向けた技術獲得

⇒3社の技術力を結集して日系・欧米系メーカーのニーズに適した製品を開発

東海ゴム

顧客 日系OEM, etc.  
地域 日本, 北米, アジア(中国、インド、東南アジア)  
技術 環境規制対応技術、多層化技術  
製品 高低圧ゴムホース、樹脂ホース、モジュール

DYTECH

顧客 FIAT, VW, GM, Renault, etc.  
地域 欧州, 南米, アフリカ, トルコ, 中国  
技術 樹脂モジュール、タンク回りシステム  
製品 樹脂ホース、PS・ACホース等

ITTC

顧客 日系OEM, etc  
地域 タイ  
製品 低圧ゴムホース

戦略製品開発に向けた技術獲得

燃料樹脂モジュール・タンク回りシステムの取得・活用

	管体製品		モジュール製品		
					システム開発
燃料系	◎	ゴムホース 樹脂チューブ	□	ネッカー一体フィルター キャニスター 床下長尺樹脂配管	燃料給油制御技術 エバポエミッション制御技術
バキュームブレーキ	◎	ゴムホース 樹脂チューブ(D社)	□	ブースターモジュール 制御バルブ	ブースターシステム制御技術
パワステ	◎	高圧ホース	□	金具加締め製品	NVH評価・解析技術
エアコン	◎	高圧ホース 低圧ホース	□	金具加締め製品	冷却システム制御技術

◎: 東海ゴム/DYTECHとも有、□: DYTECHのみ有

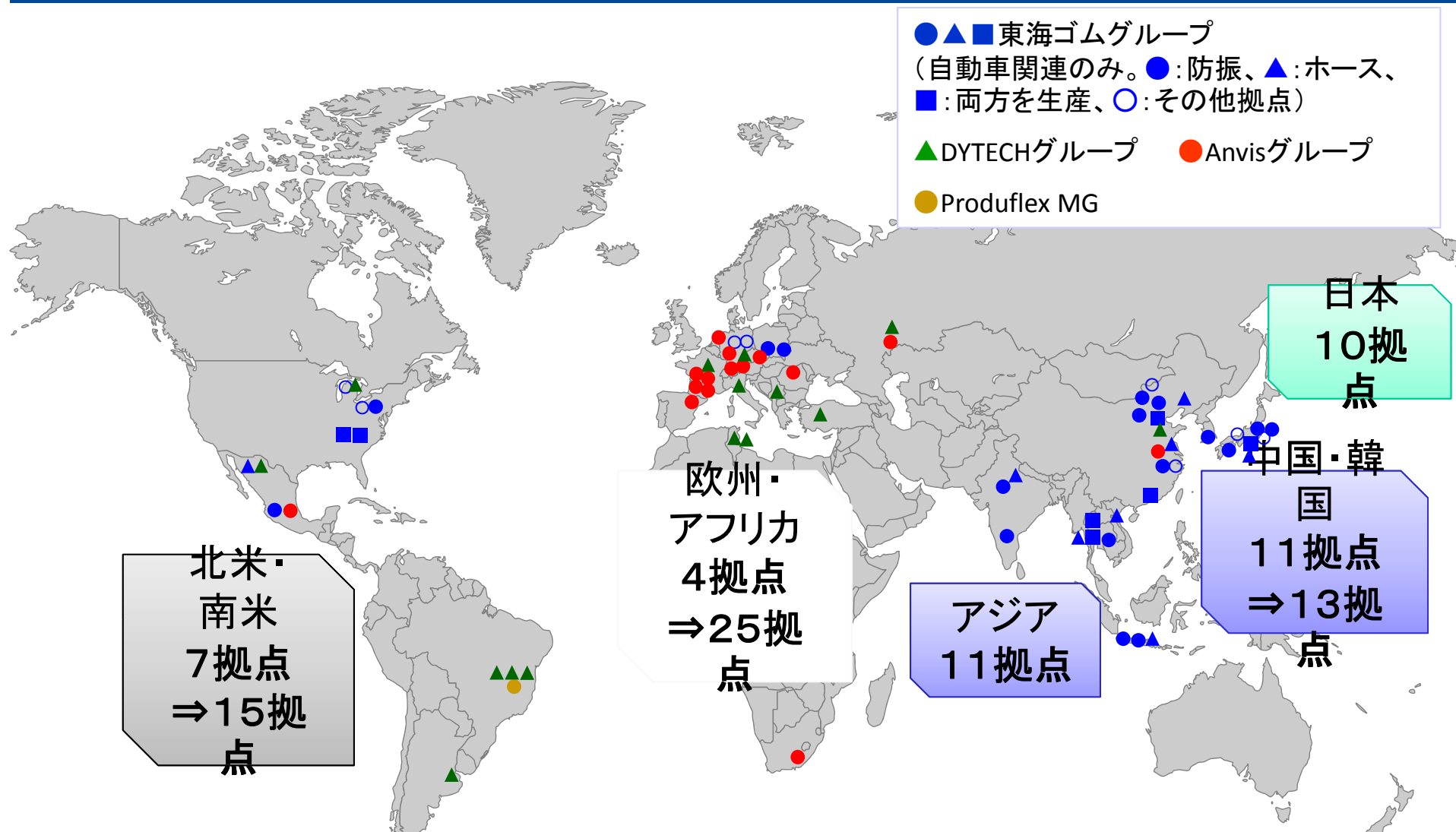
**東海ゴムの強み**  
ゴム・樹脂ホース  
(管体製品)の  
高機能開発技術

+

**DYTECHの強み**  
システム開発による  
モジュール製造  
技術

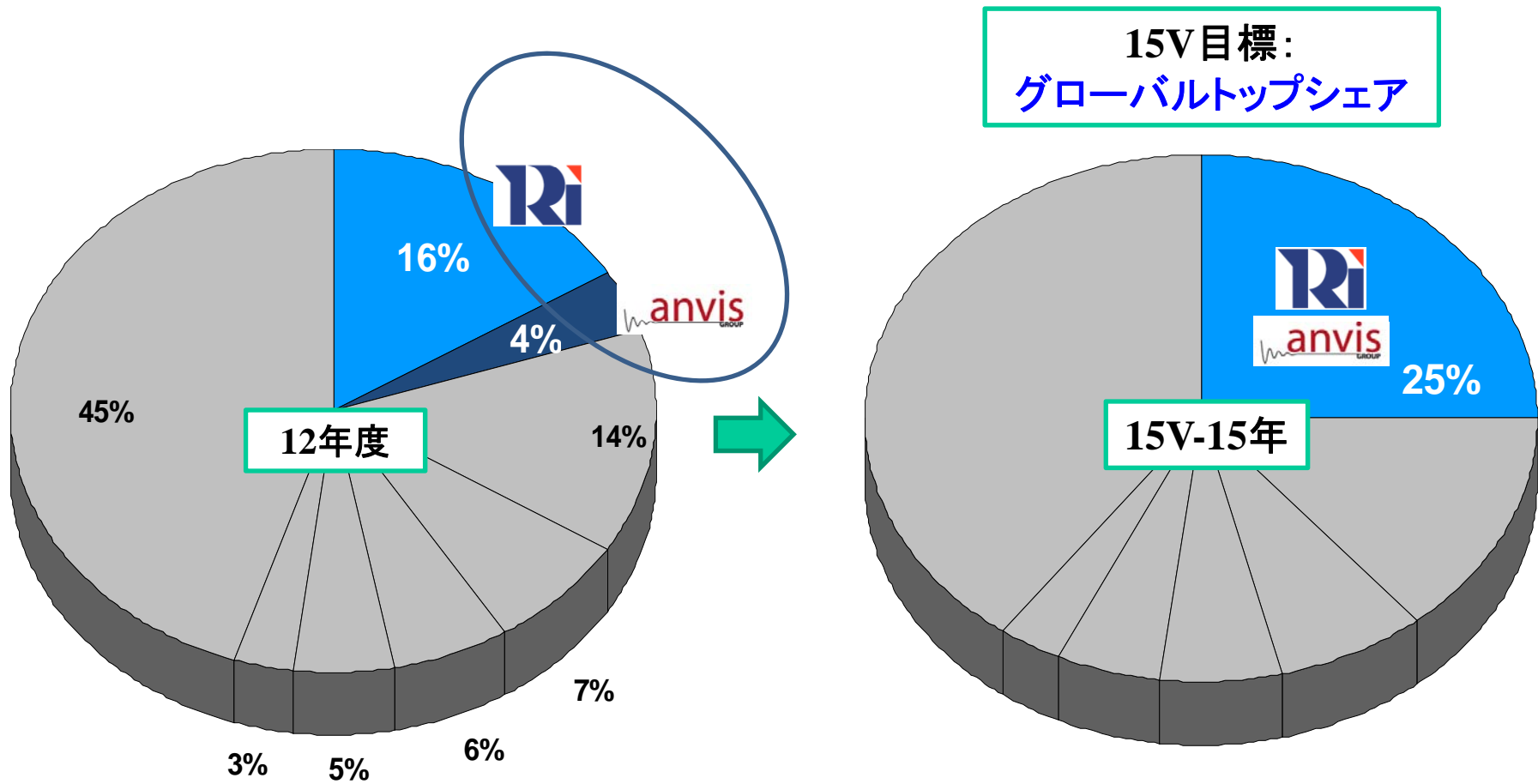
=

**シナジー効果**  
日系・欧米系メー  
カーのニーズに対  
応した製品の開発

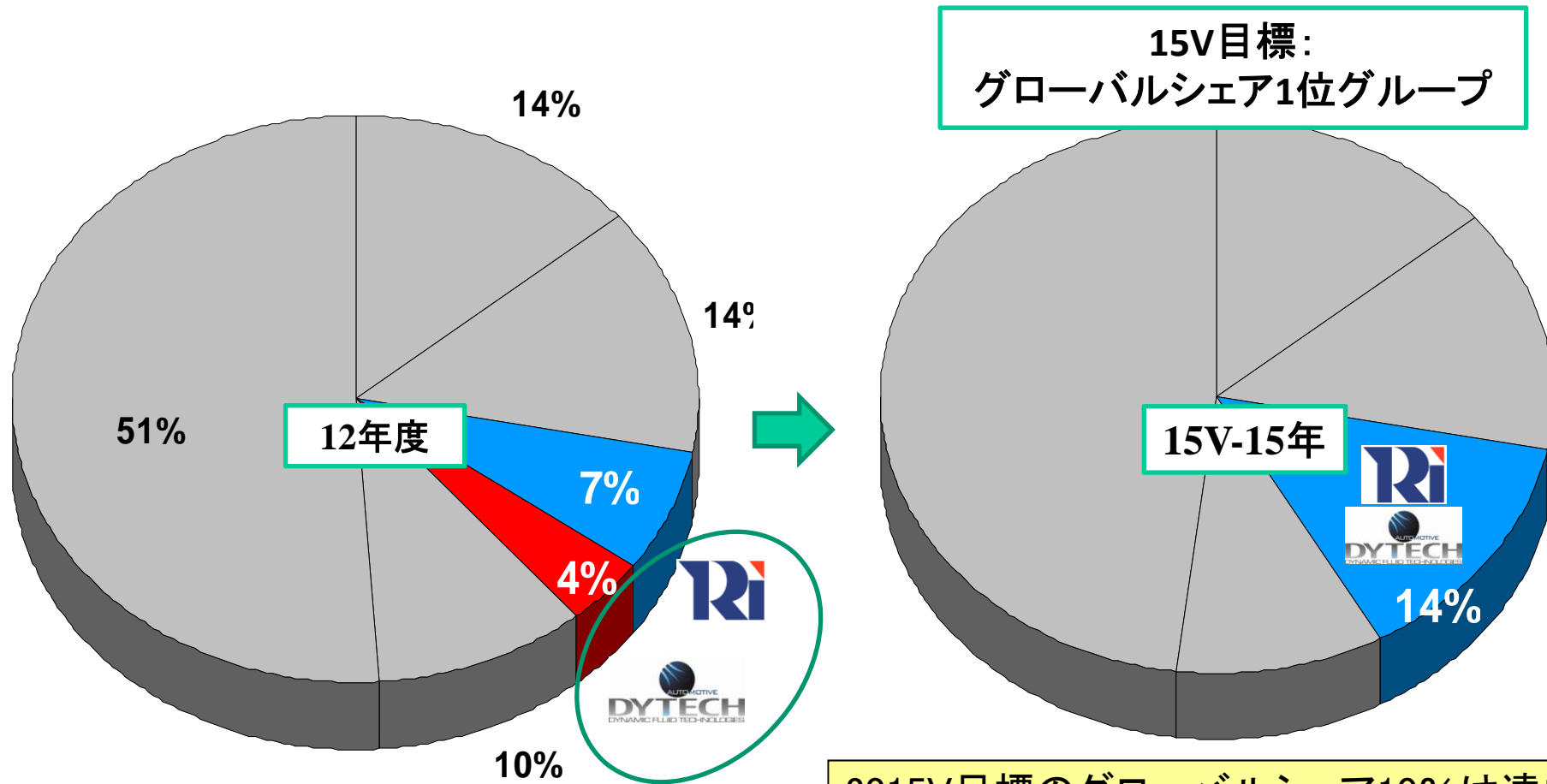


M&A実施前：世界 11カ国・ 43拠点 ⇒ M&A完了後：世界 24カ国・ 74拠点

**グローバル5極での製品供給補完体制が完成(グループ全体で102拠点)**



15V目標シェア25%に向けて更なる  
拡販活動を実施



2015V目標のグローバルシェア10%は達成  
⇒DYTECH買収に伴い、目標数値を14%に  
上方修正し、グローバルシェアのトップグル  
ープ入りを狙う。



この資料に記載されております売上高及び利益等の予想のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動、その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・日本、北・南米、欧州、アジア諸国など当社グループが事業活動を行っているその他の国における需要変動
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国などの各通貨の為替相場の変動
- ・天然ゴムや合成ゴムなどのゴム材料や鋼材などの原材料価格の変動
- ・諸外国における予期せぬ法律や規制の変更、政治・経済状況の変化
- ・大規模な災害等の発生による当社グループ・仕入先・納入先等への影響

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております予想とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。



以上